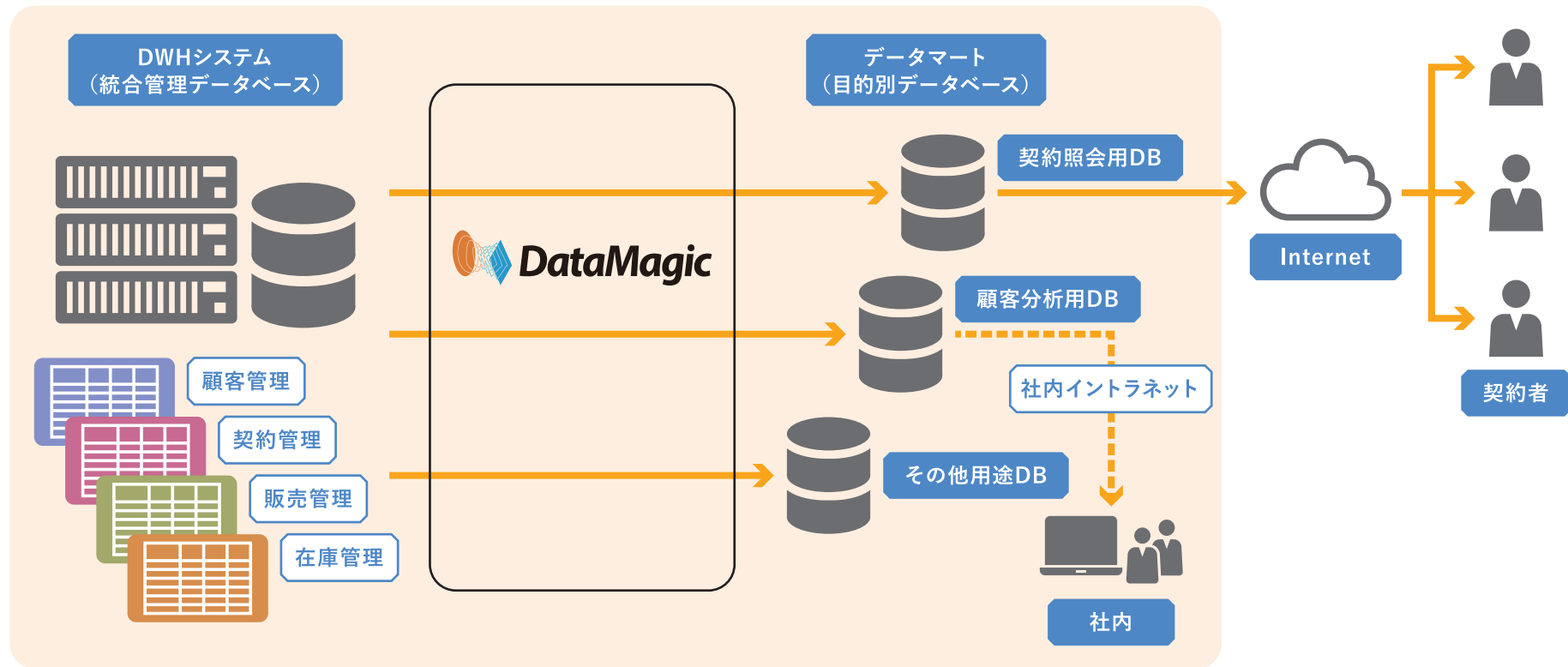


DWHからの目的別データマート構築

業種：a



導入目的

統合データベースに格納されている顧客情報から、業務目的ごとに扱うデータのセキュリティ対策や管理・運用性を考慮し、目的別のデータマートを構築する。

導入前の課題

秘匿性の高い個人情報情報を、DBから目的別に抽出し、開示用ファイルを作成する作業に人手がかかりミスも発生している。また入力情報の表記揺れがあるため、情報の正規化に多大な工数を要する。

導入の効果

データのマスキングを実施することで、目的別に表示する個人情報情報を制限できるようになった。GUIによる簡単な設定で構築できるので、増減する目的別データベースのメンテナンス性が著しく向上した。